



平成27年2月定例会

一般質問通告書一覧 (3月3日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(37番) 粒谷 友示 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 学研高山地区第2工区について</p> <p>今春執行される選挙において、新しい生駒市長が誕生することになるが、あらためて、学研高山地区第2工区の開発に係る知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 辻町ICの整備について</p> <p>阪奈道路と国道168号が交差する道路交通上の主要な結節点である辻町ICのフルランプ化は、「経済の活性化」や「くらしの向上」に大きく寄与するものであると考えるが、設置に向けた知事の決意を伺いたい。</p> <p>3 避難所の土砂災害対策について</p> <p>土砂災害の危険性がある避難所に対しては、堰堤を設置するなどのハード対策により、早急に安全性を確保する必要があると考えるが、その取組状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(9番) 小林 照代 (日本共産党)</p>	<p>1 災害対策について</p> <p>(1) 奈良県において過去発生した災害の多くは水害によるものであり、特に居住者の多い大和川流域の住宅地における豪雨に対する浸水対策は重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 災害時に地域防災の要となる避難所は、耐震性などの安全性が不可欠と考えるが、避難所の現状とその見直しについてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 自主防災組織が地域で活用されるためには、防災の勉強と訓練を受けた防災士をはじめとした防災リーダーが必要であり、その養成に取り組むべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>危機管理監</p> <p>危機管理監</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(30番) 和田 恵治 (なら元気ク ラブ)</p>	<p>(2) 先般、桜井市と締結されたまちづくり連携協定の対象地区に、なら食と農の魅力創造国際大学校のオーベルジュを核とした地域周辺を加えて、この地域における賑わいのあるまちづくりの構想を、桜井市と連携して策定していく必要があると考えるがどうか。</p> <p>3 県と市町村のまちづくりに関する連携協定について</p> <p>まちづくり連携協定を締結する市町村との協働によるまちづくりプロジェクトの進め方や手法はどのようなものなのか。また、その際の、市町村に対する県の支援策について伺いたい。</p> <p>4 空き家対策について</p> <p>放置され適切に管理が出来ていない空き家への対策について、来年度以降、県ではどのような具体的な取組を進めていくのか。</p> <p>5 特別養護老人ホームの支援対策について</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム等に勤務する介護職員に係る人件費補助制度の創設について</p> <p>平成27年度から、さらに介護保険制度が財源の理由をもって改悪されるなかで、高齢者対策を充実するために、奈良県の独自措置として、思い切って、特別養護老人ホーム等に勤務する介護職員に係る人件費補助を講じる考えはないのか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホームの改修整備に対する県単独補助制度の創設について</p> <p>新たな特別養護老人ホームの介護報酬制度において多床室の報酬単価が低いなか、入所者や利用者の安全や快適な環境を提供するため改修を行っている現場の実態を斟酌の上、新規建設費用についてのみ補助金を支給するというこれまでの考え方を改めて、改修整備に対し、県単独補助制度を創設する考えがないのか伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>まちづくり推進 局 長</p> <p>健康福祉部長</p>